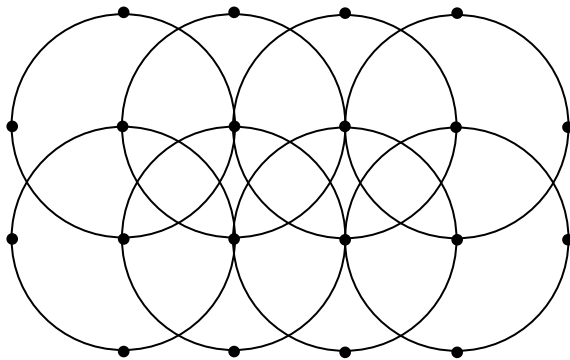


直角二等辺三角形の辺の長さの差

下の図は、半径が1 cmの円を8個たて横にまっすぐ並べたもので、それぞれの円には円周を4等分する点が打ってあります。

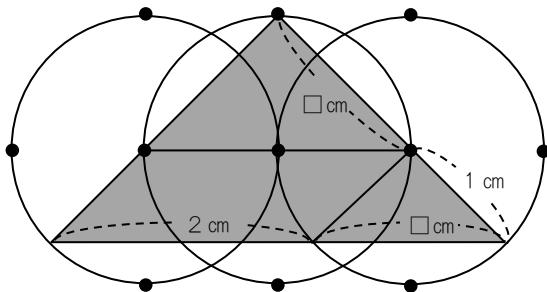


この図の中に、短い辺と長い辺の長さの差が1 cmの直角二等辺三角形を1つ作図しなさい。作図においては、直定規を1本のみ使うものとします。

直角二等辺三角形の辺の長さの差 解説の図②参照

図①の直角二等辺三角形で、短い辺と長い辺の長さの差が $(\square + 2) - (\square + 1) = 1$ (cm) になります。よって、図②が解答例となります。位置や向きが異なっても正解ですが、すべての直角二等辺三角形は相似であることから、短い辺と長い辺の長さの差が 1 cm の直角二等辺三角形は、図②の例と合同でなければいけません。

図①



図②

